



平成26年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦
コード番号 1712 (東証・名証各第一部)
問合せ先 取締役企画管理本部長 村上 実
電話番号 052(611)6350 (代表)
当社の親会社 株式会社ダイセキ
代表者名 代表取締役社長 伊藤 博之
コード番号 9793 (東証・名証各第一部)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成26年2月期(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)の個別業績におきまして、前年実績値との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成26年2月期の個別業績と前年実績値の差異

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	6,853	455	461	254	42 48
当期実績(B)	9,857	1,105	1,077	654	108 44
増減額(B-A)	3,003	650	615	400	—
増減率(%)	43.8%	142.9%	133.3%	157.3%	—

(注) 当社は、平成25年9月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式を100株とする単元株制度を採用しています。これに伴い、前連結会計年度(平成25年2月期)の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

当期における状況は、新政権の経済対策「アベノミクス」への期待や、日銀による大胆な金融緩和により円高是正と株高が進み、景気回復への期待感から消費マインドも改善するなど、明るさが見えてまいりました。

しかしながら一方では、新興国の景気減速や輸入原材料価格の高騰なども懸念されるなど、先行きは引き続き不透明感が残る状況で推移いたしました。

当期における事業活動につきましては、当社の業績に大きな影響を与える土木建設市場が概ね堅調に推移し、また、首都圏を中心に不動産の動きが活発であったことにより、業績は概ね順調に推移した結果、前期実績を上回る結果となりました。

以 上